

【一般演題Ⅱ】

大腸内視鏡検査前処置における腸管洗浄剤2剤の有効性と患者満足度調査

たちばなベイクリニック

内視鏡室 ○川端亜紀子、岩坪ひろみ、池邊 佳子
医 師 南 ひとみ

【背景】

大腸内視鏡検査（以下CS）の前処置で使用する腸管洗浄剤は「のみにくさ」や「水分量の多さ」また排便による「腹部刺激」「夜間の睡眠不足」などの苦痛を伴うとの声が多く聞かれる。これらの声を受け、当院では2017年よりモビプレップ配合内用剤（以下モビプレップ®）に加え、内服量の少ないピコプレップ配合内用剤（以下ピコプレップ®）を採用した。

【目的】

採用後2年が過ぎ、被験者の腸管洗浄剤への満足度及び、洗浄効果を調査するためアンケートを行った。

【対象・方法】

2020年9月～11月の期間に当院で腸管洗浄剤を服用しCSを受けた被験者30歳～80歳代までの男女118名に検査終了後アンケート用紙を渡し自己記入を依頼、本人による記入が困難な場合は看護師による聞き取りを行った。回収数は男性が44名、女性が59名 計103名（回収率87.2%）だった。

ピコプレップ服用者 P群 76名（73.8%） モビプレップ服用者 M群 27名（26.2%）

【服用方法】

被験者の年齢や普段の排便状況、定期的な下剤服用の有無などを考慮し前日夜のセンノシド及びピコスルファートの量を加減した。

P群：前日夕食後 センノシド4錠又は2錠 ピコスルファート5～10ml ピコプレップ1包
当日 ピコプレップ1包

M群：前日眠前 センノシド4錠又は2錠 ピコスルファート5～10ml
当日 モビプレップ 500～1000ml（洗浄効果により加減）

【結果】

全例で前処置を完了し、途中脱落した症例はなかった。

服用開始から洗浄効果良好となるまでの平均洗浄時間は P群 151.3分 M群 120分

飲みやすさ：飲みやすい P群 65.8% M群 18.5%

水分摂取量：多い P群 14.5% M群 40.7%

味：良い P群 27.7% M群 0%

悪い P群 3.9% M群 48.1%

夜間の排便について：排便で目覚めた P群 57.9% M群 22.2%

洗浄効果：良い P群 82.9% M群 74.1%

やや不良 P群 11.9% M群 18.5%

不良 P群 3.9% M群 3.7%

次回の洗浄剤の希望：同じものが良い P群 88.2% M群 55.6%

別のものが良い P群 9.2% M群 40.7%

【考察・結論】

洗浄効果および洗浄剤服用時の症状（腹痛・嘔気・腹満感）、内服方法の難しさについての有意差は無かった。平均洗浄時間と夜間の排便による睡眠への影響についてはM群の方が少なかったが、飲みやすさ・量・味においてはP群の方が満足度が高かった。又、次回も同じ腸管洗浄剤を希望すると回答した被験者はP群の方が多かった。

【結語】

ピコプレップ®は夜間の排便が睡眠に影響し軽度の苦痛を伴う傾向にあったが、飲みやすさの面などで被験者の満足度が高く、次回も同じ洗浄剤を選択した数の差より導入は有意義だったと考える。このことを踏まえ今後も被験者の好む腸管洗浄剤を提供していきたい。

《利益相反：無》

【連絡先：長崎県長崎市網場町487-8 TEL：095-830-1188】